



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第110号(2013年3月29日)



## 【中東での食糧問題について】

3月にドバイで開かれているAgra Middle East 2013の場で、食糧問題を改善させるための手段について専門家の中で議論が行われました。

まず、農地については急速な都市化が進む中で減少しており、農作物の生産量を減らす要因となっているとの報告が出ています。また、農業に必要な水も依然として不足しています。

湾岸諸国では水を利用する際の非効率性も問題視されています。たとえばアラブ首長国連邦およびサウジアラビアでは、人口一人あたりの水の消費量がイギリスの6倍という推定も出ています。尚、真水の不足については、湾岸諸国は2011年から2016年の間に1,000億ドルをかけて海水の淡水化プロジェクトを進めることになっています。

一方で人口の増加、可処分所得の増加に伴い食料自体の需要も増えています。また、可処分所得の増加に伴い食生活自体の変化も見られ、たとえばサウジアラビアでは以前よりも肉の消費が増えているようです。

これらの問題に対処するため、温室、水栽培といった農業関連の技術の改善が求められています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【アブダビ空港の利用が拡大】

アブダビ空港の発表によれば、2月の乗客数は前年同月比13.1%増加しました。便数は同7.5%、旅客荷物は同16.7%増加しました。

アラブ首長国連邦への乗客が多かった国は、インド、ドイツ、タイ、サウジアラビア、パキスタンの順となりました。

アブダビ空港はグローバルのハブとなることを目標としており、先月辞任したCEOの後任として、ロンドンのヒースロー空港のCEOを以前勤めていたTony Douglas氏を指名しています。

## 【アラブ首長国連邦でのタクシー会社の取り組み】

アラブ首長国連邦のSharjahのタクシー会社、Sharjah Transportは天然ガス自動車を導入することによって環境保全に取り組むことを発表しました。

合計5,000台のタクシーを天然ガス自動車に切り替えるにあたり、フェーズ1として近いうちに1,600台を天然ガス自動車に切り替えるようです。これによって年間52トンの炭素ガス放出削減に繋がると推定しています。また、フェーズ2としては、2015年には全ての車を天然ガス自動車に切り替えるとしています。

この取り組みのほか、自動車、輸送を担う政府当局は今月、20台のトヨタのハイブリッドカーがDubai taxi fleetの乗用車として加わると発表しています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【サウジアラビアがシェール・ガス、シェール・オイルに着目】

サウジアラビアはエネルギー大国としての地位を保つためにシェール・ガス、シェール・オイルを活用する計画を立てているようです。

まず今年はシェール・ガスの予備的な削岩を計画しています。石油鉱物資源相のal-Naimi氏によれば、同国のシェール・ガスあるいは他の新たなガスの埋蔵量は、伝統的なガスの埋蔵量約286兆立方フィートの倍にも達するとされています。

シェール・ガスなど新たなガスを活用するとともに再生エネルギー技術を発達させることにより、増加する国内のエネルギー需要にこたえると同時に原油の輸出も維持できると期待されています。

一方でシェール・ガスをいつから商業生産できるか、あるいは生産のために必要な大量の水をどのように供給可能かについては明らかになっていません。

シェール・オイルについても活用の計画があるようですが、現状ではどこに埋蔵されているのかを確認するのが先とのことで、シェール・ガスよりは遅れているようです。

一方で、同国以外にも中国、ウクライナ、ポーランドなどでシェール・ガス、シェール・オイル活用の動きが広がる中で、同国が今後も原油の輸出量を安定して維持していく役割を担う必要があるのかどうかについても議論があるようです。

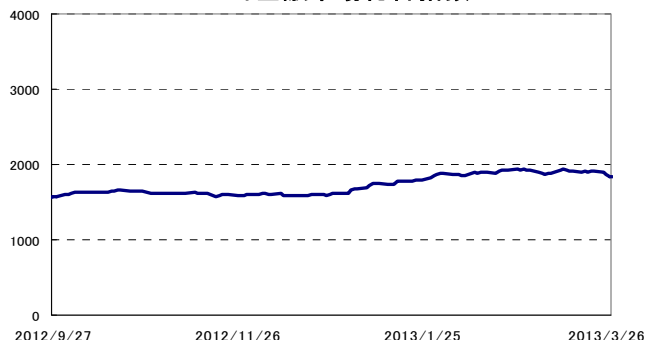


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

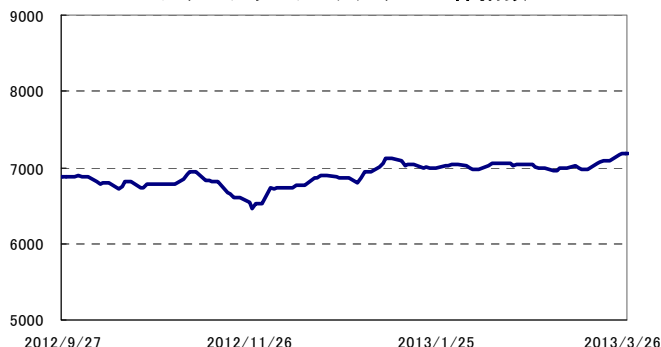


## 【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

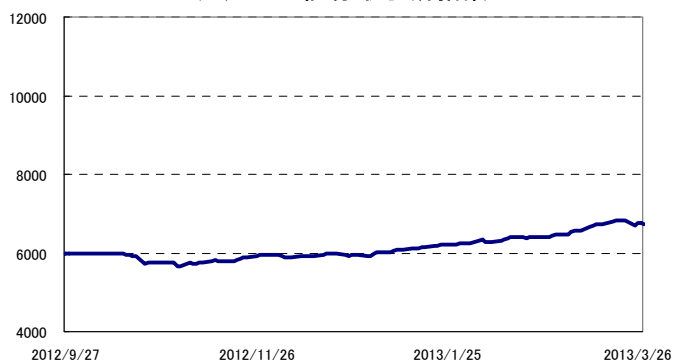
ドバイ金融市場総合指数



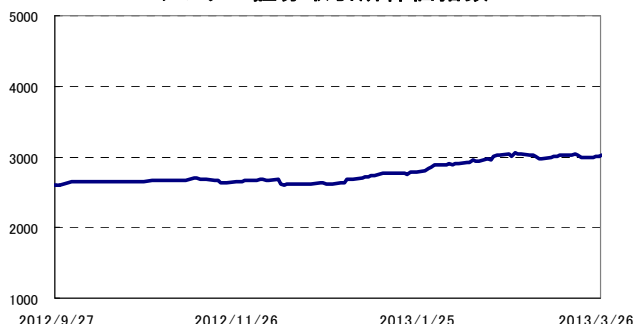
サウジアラビア タダウル全株指数



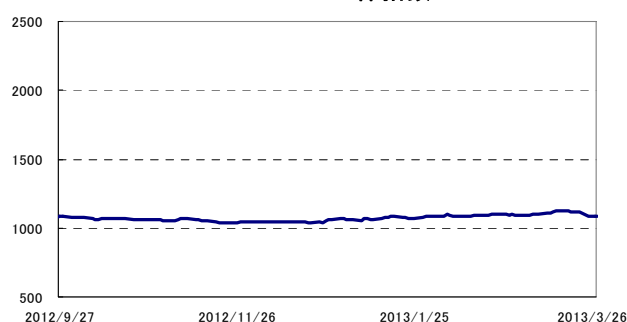
クウェート証券取引所指数



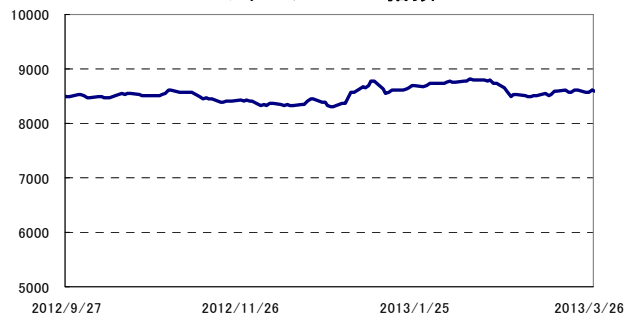
アブダビ証券取引所株価指数



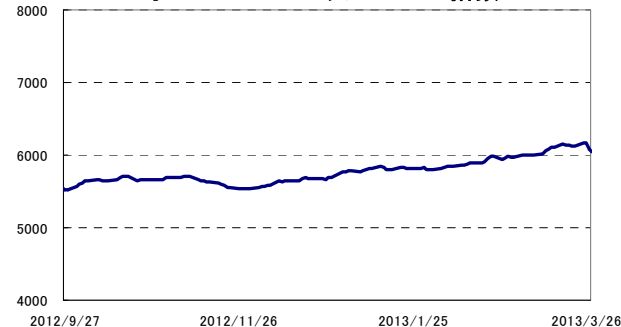
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。